

米国アカデミー賞公認国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア

賞金100万円 ショートフィルムとつながる文学賞ブックショートアワード 第2期優秀作品発表！

お馴染みの昔話から文豪の名作まで、多彩な原作を活かした二次創作を全文公開

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジアが、二次創作をテーマとした短編小説をWEBで公募し、大賞作品をショートフィルム化やラジオ番組化するプロジェクト「ブックショート」は、第2期優秀作品をWEBサイトにて発表、全文を掲載いたしました。(<http://bookshorts.jp/novel2/>)

今回掲載している作品は、第2期で応募のあった345作品のうち選考を通過した25作品。「座敷童」、「ピーター・パン」、「吾輩は猫である」、「檸檬」など、お馴染みの昔話から文豪の名作まで、多彩な原作を活かした二次創作が集まりました。今後、第3期(現在受付中)から第4期(2015年2月～3月末)で選定される優秀作品と合わせて、大賞作品の候補となります。※第2期優秀作品の25作品の概要は別紙をご参照ください。

なお、ブックショートのWEBサイトでは、有川浩さん、いとうせいこうさん、川村元気さん、島田雅彦さんら著名な作家の創作にまつわるインタビューなど、様々なコンテンツを公開しています。

報道関係の皆様におかれましては、本情報をご紹介いただけますよう、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

【プロジェクト概要】

■名称: Book Shorts(ブックショート)

■URL: <http://bookshorts.jp/>

■第一回募集内容:

おとぎ話や昔話、民話、小説(※)などをもとに創作した1,000字以上10,000字以内のショートストーリー。
アレンジやスピンオフ、新釈作品。

※パブリックドメインの作品に限ります。

■募集期間:

第1期 2014年8月1日(金)～2014年9月30日(火) ※終了いたしました。

第2期 2014年10月1日(水)～2014年11月30日(日) ※終了いたしました。

第3期 2014年12月1日(月)～2015年1月31日(土)

第4期 2015年2月1日(日)～2015年3月31日(火)

※各期ごとに優秀作品を選定後、サイト上にて発表、作品を掲載します。

※大賞作品は各期の優秀作品の中から1作品を選定します。

■応募方法: ブックショートのWEBサイトから(郵送、持ち込み不可。)

■大賞

・賞金100万円

・ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015での表彰

・ショートフィルム化

・FM放送局J-WAVE(81.3FM)にてラジオ番組化

など

■一般からの問い合わせ先 e-mail: info@bookshorts.jp

【お問い合わせ先】

ショートショート実行委員会

担当: 高橋(090-3049-1284) 川村(090-3049-0436) 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル4F

TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202 e-mail: press@shortshorts.org



BOOK SHORTS

第2期優秀作品決定

■第2期優秀作品(全25作品)

『忘れな草の物語』 新生実 (『忘れな草の語源にまつわる伝説』)

“記憶を失った少年の魔法のノート”

翌朝には前日の記憶を全て失ってしまう少年タナ。少女リは、ある日彼に一冊のノートを手渡す。今日あった出来事を記して、明日も自分のことを思い出してもらえるように。魔法のノートだと興奮するタナだが…

『子供心』 伊藤円 (『浦島太郎』)

“中流家庭の子 太郎の「異世界」体験記”

砂場でいじめられっ子の亀田を助けた太郎。お礼に家に招待されるが、そこは漬物のような匂いが漂う薄暗い町の小さな建物だった。騒がしい弟たち、時代遅れのゲーム機、異様に薄い麦茶。中流家庭の子 太郎の“異世界”体験記。

『檸檬を持って大海原へ』 藪竹小径 (『檸檬』梶井基次郎)

“教室に仕掛けられた「爆弾」”

大学の講義。教授の声はかすかにしか聞こえない。パチンコ玉を耳栓代わりに『檸檬』を読む友人。ふと目についた大きくて黒い四角い鞆。友人は確信に満ちた声で断言する。「爆弾に違いない。」

『ろうそく心中』 木江恭 (『赤い蠟燭と人魚』小川未明)

“ろうそくを集め続けた理由”

魚吉の葬式。長年の友 高五郎は遺言通り彼の手に赤いろうそくを握らせて海に沈め、故人が集めた無数のろうそくで送り火を焚いた。不意に高五郎が思い出したのは、魚吉が過去を語った夜のことだった。

『カウンツ』 こがめみく (『番町皿屋敷』)

“足りないものはなに？”

レコード店に夜な夜な響く喉をひねり潰したような叫び声。レコード番号を数える店長キクさんの慟哭らしい。彼に本当に足りないもの、欠けているものは何なのか。レコードから流れる音楽が空気を満たす。

『The perfect king』 田中りさこ (『裸の王様』)

“王様の大作戦”

平和で穏やかな国を治める王様は、領民から愛される非常に優れた人物だった。ただ、たった一つだけ悩みが。それは、“誰も自分に意見しないこと”。王様は皆の心を確かめるため、ある作戦を実行することに…

『いそろう』 富田礼子 (『一寸法師』)

“小さな同居人”

一人暮らしの“わたし”の家に突然現れた小さな男タロウ。“わたし”はその存在に驚きつつも共同生活に馴染み始めるが、その矢先、彼はどこかへ行ってしまった。帰ってこないタロウ。どこで、何を？

『カメはウサギを追いかける』 橋本成亮 (『ウサギとカメ』)

“努力するウサギにカメは勝てるか？”

走るのが心底好きな柗は、公立高校の陸上部で日々練習に励む。柗が追いかけるのは、同級生で全国トップクラスの洋。才能の違いを痛感するも諦めない柗に洋が語った言葉とは。青春の友情物語。

『オオカミの白い手』 こゆうた (『オオカミと七匹の子ヤギ』)

“白塗りの鎧で秘匿されたもの”

美和はある日、近所の洋館に咲き乱れる白いバラに惹かれ、中を覗き込む。すると、家主が現れた。ピエロの化粧物みたいな化粧をしたおばあさん。断りきれず家に上がった翌日、美和の家を訪ねてきたのは…

『お留守番』 大場鳩太郎 (『オオカミと七匹の子ヤギ』)

“恐怖のチャイム”

優しい母親と二人で暮らす「ぼく」の唯一苦手なことは留守番だ。ある日、しゃがれた声で『お母さん』だと名乗る男が家を訪ねてきた。その日はあっさり追い払えたが、翌日の同時刻、再びチャイムが鳴った。

『かっぱちゃん』 うざとなおこ (『河童伝説』)

“不思議な一夏の思い出”

かっぱちゃんと一緒に過ごした一夏の思い出。泳いだり、ザリガニとったり、山びこ合戦。一緒に大きな声で笑った。お父さんも、おじいちゃんも昔かっぱちゃんと遊んだらしい。そして、夏休みの最後の日がきた。

『サルの夢』 山本康仁 (『猿蟹合戦』)

“私は何もやっていない。”

私はまた、サルの夢を見て目を覚ました。小学五年生の夏に転校してきた彼女。猿の物真似が上手かったからサル。あつという間に人気者になった後、同じスピードで悪意が集まった。私は何もやっていない。

『ガラス製品なので大変割れ易くなっております』 五十嵐涼 (『シンデレラ』)

“魔女の目的”

“魔女の部屋”で買ったガラスの靴を履き、割れた破片で足が血まみれになった女子高生。小柄な彼女の体重は80キロオーバーだ。金を返せと怒鳴り込むも、“魔女”の方が何枚も上手だった。



BOOK SHORTS

第2期優秀作品決定

『の、あとで』 平井玉 (『桃太郎』)
“彼らのノスタルジー”

鬼ヶ島での決戦後、故郷の猿山でボスに君臨する猿は、新世代の台頭に悩まされている。一方、犬は恵まれながらも不本意な暮らしを送っていた。彼らが共に浸るのは、“あの頃”の思い出だった。

『わらしの思い出』 岡田千明 (『座敷童子』)
“動き出した時間”

都心を離れ、田舎暮らしをはじめようとする夫婦。訪れたのはかつて夫の祖父母が暮らした土地だった。不動産屋に案内された家からは、どこかぬくもりを感じる。彼はその夜、久しぶりに母に電話した。

『笠地蔵(?)の恩返し!』 城山秋月 (『笠地蔵』)
“変身が苦手な狐”

化け術が苦手な狐のイチには、人間の友達がいる。中でも大好きなのが孝。ある日、孝を驚かせようと道端で地蔵に化けてみたものの、大雪に遭ってしまう。寒くて声も出ないイチ地蔵に、通りがかった孝は...

『蟻と蟻』 行李陽 (『鶴の恩返し』)
“たくさんの鶴”

青年は帰宅途中、罨にかかった鶴を見つけ、助けた。そして家路を急ぐ。すると、また鶴が。再び助ける青年。しばらく歩く。さらに鶴が。青年は罨を解く。吹雪となったその夜、彼を訪ねてきたのは...

『菊見の頭巾』 平井玉 (『聞き耳頭巾』)
“赤いベレー帽の不思議な力”

十歳になった滯の目標は、努力しないで一生暮らしていくこと。じいちゃんはその聞いて喜び、滯に赤いベレー帽をプレゼントした。いつもじいちゃんが被っていた帽子だ。実はそこには不思議な力が宿っていたのだった。

『文左衛門の告発』 伊丹泰ノ助 (『文鳥』『吾輩は猫である』夏目漱石)
“文鳥から見た漱石”

漱石の家で飼われることになった文鳥の文左衛門はある日、名前の無い猫に出会う。あの有名な小説では死んだことになっている猫だ。猫の話聞いて腹を立てた門左衛門が漱石の仕事邪魔した結果...

『白雪姫 in バードランド』 五十嵐涼 (『白雪姫』)
“白雪姫を待つ男”

美白で多くの男を魅了した詠美も年をとった。度重なる婚活に敗れ、焼き鳥屋でクダを巻く。ある夜、飲み過ぎてついに倒れてしまう。心配して彼女の周りを困む男性たち。目覚めた彼女を待っていた男は...

『走れ! 亜利子の運動会』 岡田京 (『不思議の国のアリス』)
“初めての一等賞”

楽しみにしていた初めての運動会に病気のせいで参加できなくなった亜利子。悔しい、悲しい。そんな彼女の部屋の壁からウサギが現れた。そう、今夜は十五夜。夜空の向こうに行ける特別な日。

『宝』 月日紡 (『桃太郎』)
“老夫婦の大切なもの”

満月が照らす山道で密談する男たち。目的は、大名の隠し子の奪還だ。老夫婦に拾われた子供を取り戻すため、彼らは次々と人を送り込むが、誰一人として帰ってこない。ついに、親分が乗り込むことに。

『猫島』 龍淵灯 (『マムヤ伝説』)
“黒猫が導いたもの”

不倫相手に裏切られたほのかは、猫だけの無人島へ一人旅に出かける。上陸して早速出会ったのは、漆黒の猫。彼女をどこかに導くように進むその後を追いかけていくと、鳥居の奥に一人の少女が立っていた。

『眠れる森の』 望一花 (『眠れる森の美女』)
“人生スキップできます”

将来の目標がない高三の森野姫子はある日、男友達のぐんちから「人生スキップできます」と書かれたサイトを教えてもらう。“現在のお客様の状況を現状維持”して、指定の年数を飛ばすことができるらしい。

『ピーターパンの夢』 松宮ミハル (『ピーターパン』)
“ピーターパンの野望”

ピーターは今日もネバーランドで少年とともに暮らしている。ウェンディとの思い出に浸りながら。そして、今でも大人になったウェンディと一緒に暮らすことを夢見ている。そのためにはこの方法しかない。